

事業群評価調書(令和6年度実施)

基本戦略名	1-4 みんなで支えあう地域を創る	事業群主管所属・課(室)長名	県民生活環境部 県民生活環境課	下野 明博
施策名	1 誰もが安心して暮らし、社会参加できる地域共生社会の推進	事業群関係課(室)		
事業群名	③ 多様な主体による連携・協働の推進	令和5年度事業費(千円)	※下記「2. 令和5年度取組実績」の事業費(R5実績)の合計額	9,387

1. 計画等概要

(長崎県総合計画チェンジ&チャレンジ2025 本文)

県民や行政、NPO・ボランティア団体、自治会、学校、企業など多様な主体による協働を推進するとともに、県民ボランティア活動支援センターを核に関係団体とも連携し、NPO・ボランティア団体の育成や活動への支援を行い、みんなが支えあう地域づくりを推進します。

(取組項目)

i) NPO・ボランティア活動に関する情報発信、人材育成、相談機能等の充実
ii) 多様な主体による連携、協働に向けた情報・意見交換の場の充実や活動基盤の強化

事業群	指 標		基準年	R3	R4	R5	R6	R7	最終目標(年度)	(進捗状況の分析) NPOや行政等からの協働に関する事業企画提案の受付や相談・意見交換、及び事業化に向けた専門家によるコーディネートを行う協働サポートデスクにおいて、庁内外への働きかけやマッチング、情報収集・発信を行うとともに、行政職員の協働意識向上のための研修を平成30年度から行ってきた効果もあり、令和5年度の県とNPO等との協働実施件数は167件と継続的に増加している。
	県とNPOなど多様な主体との協働実施件数	目標値①		146件	156件	166件	176件	186件	186件(R7)	
		実績値②	126件(R元)	149件	162件	167件			進捗状況	
		達成率②／①		102%	103%	100%			順調	

2. 令和5年度取組実績(令和6年度新規・補正事業は参考記載)

取組項目	中核事業	事業番号	事務事業名	事業費(単位:千円)			事業概要 令和5年度事業内容及び実施状況 (令和6年度新規・補正事業は事業内容)	指標(上段:活動指標、下段:成果指標)				令和5年度事業の成果等
				R4実績	うち 一般財源	人件費 (参考)		主な指標	R4目標	R4実績	達成率	
				R5実績					R5目標	R5実績		
				R6計画					R6目標			
				事業実施の根拠法令等				事業対象				
				事業期間	法令による 事業実施の 義務付け	県の裁量 の余地が ない事業			他の評価 対象事業 (公共、研究等)			
所管課(室)名												
取組項目 1	○	1	特定非営利活動促進法 施行等事務	2,948	2,948	12,245	●事業内容 特定非営利活動法人(NPO法人)の設立認証や認定などの 特定非営利活動促進法(NPO法)業務の適正な運用を図る。 ●実施状況 NPO法人の設立認証・認定等の手続き支援や管理運営説明 会の開催をはじめ、「NPO法人の手引き」の作成・配付を行い、 法人の設立や円滑な運営等の支援を行った。	【活動指標】 管理運営説明会の開 催回数(回)	2	2	100%	●事業の成果 ・管理運営説明会の開催や個別相談対応等の 機会を捉え、NPO法人に対し必要な各種手続を きめ細かに指導する等、NPO法の理解促進に 努めた結果、事業報告書の提出率は目標を達成 した。 ●事業群の目標達成への寄与 ・NPO法人の設立や円滑な運営等の支援をす ることにより、協働のパートナーとなり得る団体 の増加に寄与した。
				3,642	3,642	12,254			2	2	100%	
				4,429	4,429	13,228			2			
			H12-	特定非営利活動促進法第9条、県民 ボランティア活動の促進に関する条例				【成果指標】	95	97	102%	
									95	96	101%	
			県民生活環境課	○	○	—		NPO法人・ボランティア団体	事業報告書等提出率 (%)	95		
	2		ボランティア振興事業費	5,800	2,900	765	●事業内容 ボランティア活動への参加促進やボランティアの担い手づくり を推進するため、県社会福祉協議会が行うボランティア振興事 業に対して支援を行う。 ●実施状況 ボランティア体験支援事業への支援を実施した。	【活動指標】	200	93	46%	●事業の成果 ・受入施設・団体数は目標達成に至らなかったが、新型コロナウイルス感染症が5類相当に移 行したことにより福祉関係施設の受入数が増 え、参加者数の目標達成にもつながった。 ●事業群の目標達成への寄与 ・県民がボランティアを体験することは、NPO・ボ ランティア団体など多様な主体との連携・協働の 下地づくりにつながる。
				3,480	1,740	766			200	195	97%	
				5,020	2,510	1,167			250			
				H3-	県民ボランティア活動の促進に関する 条例			【成果指標】	2,000	2,712	135%	
						2,000	2,345		117%			
			県民生活環境課	—	—	—	(社福)長崎県社会福祉協議会	ボランティアキャン ペーン参加者数(人)	2,000			

取組項目	○	3	ながさきプロボノチャレンジ推進事業費				●事業内容 企業人材等の専門的な知識や経験、ノウハウ等を有効活用し、NPOをはじめとした活動団体の運営基盤強化・活動活性化につなげるための新たなモデルを創出する。 ●実施状況 市町等関係者や団体への説明などにより事業の周知を行い、応募した団体の運営上の課題に対して、プロジェクトとして支援した。	【活動指標】 プロジェクト事業実施数(件)				●事業の成果 ・説明会の開催や団体へのヒアリングを通じて抽出した3件の課題それぞれに対し、支援人材による解決手法とのマッチングに至ったことで課題解決につながった。 ●事業群の目標達成への寄与 ・NPO・ボランティア団体と専門的な知識を有する支援人材との協働実施は、新たな協働の形態として、多様な主体との協働の推進に寄与した。
				1,039	566	5,361			3	3	100%	
				2,481	1,546	5,447			4			
			R5-7	県民ボランティア活動の促進に関する条例			NPO法人・ボランティア団体	【成果指標】 NPOをはじめとした活動団体の課題解決につながった件数(件)				●事業の成果 ・大学生によるNPO訪問やNPOと大学生との交流は目標を上回ったものの、学生ボランティア参加率はコロナ禍後に即座に復調とはならず、目標達成には至らなかった。 ●事業群の目標達成への寄与 ・大学生がNPOの生の声や実際の活動の体験により、地域の課題や、活動の原動力である熱い思い、NPO活動の幅広さや奥深さなどが知れ、社会貢献活動への理解と意識醸成が一定図られた。
			県民生活環境課	—	—	—			3	3	100%	
	ii	4	「地域・若者・NPO」つながる協働推進事業費				●事業内容 県民ニーズが多様化する中、行政のみで地域課題解決への対応は困難であり、活躍するNPOと若者との交流・連携の場を創出することなどにより、NPOの組織力強化及び若者の県内定着を促進する。 ●実施状況 大学生がNPO等3団体を訪問し、その後大学生やNPOの方等が参加する交流会開催などを実施した。	【活動指標】 NPO訪問、体験ツアー回数(回)				●事業の成果 ・大学生によるNPO訪問やNPOと大学生との交流は目標を上回ったものの、学生ボランティア参加率はコロナ禍後に即座に復調とはならず、目標達成には至らなかった。 ●事業群の目標達成への寄与 ・大学生がNPOの生の声や実際の活動の体験により、地域の課題や、活動の原動力である熱い思い、NPO活動の幅広さや奥深さなどが知れ、社会貢献活動への理解と意識醸成が一定図られた。
				1,624	850	5,357			7	10	142%	
				1,226	613	5,361			7	10	142%	
			(R5終了)R3-5	県民ボランティア活動の促進に関する条例			大学生、NPO法人、ボランティア団体	【成果指標】 学生のボランティア参加率(%)				
			県民生活環境課	—	—	—			39.8	26.1	65%	
									42.8	29.8	69%	

3. 実績の検証及び解決すべき課題と解決に向けた方向性

i NPO・ボランティア活動に関する情報発信、人材育成、相談機能等の充実	
●実績の検証及び解決すべき課題 NPO法に基づくNPO法人の管理・運営に関する指導・支援により、自立・自走できるNPOの育成に向けた支援を行うことができ、また、県社会福祉協議会の行うボランティア振興事業への補助では、ボランティアキャンペーンの参加者数は目標を達成し、ボランティアの裾野拡大に寄与できている。近年、多くの法人が抱える、組織の高齢化や後継者不足及び資金面などの課題の解決に向け、引き続き取り組んで行く必要がある。	●課題解決に向けた方向性 引き続き、個々のNPOが抱える組織面や資金面などの課題の解決に向けた情報提供や伴走支援、相談対応などの支援をはじめ、NPO法人の設立、運営、活動に至る一貫した指導・支援及びボランティアの裾野拡大等について、県民ボランティア活動支援センターを核として、県社会福祉協議会など関係機関とも一層連携を強化し取り組んでいく。
ii 多様な主体による連携、協働に向けた情報・意見交換の場の充実や活動基盤の強化	
●実績の検証及び解決すべき課題 複雑・多様化する地域課題の解決に向け、多様な主体による連携・協働を進めており、新たに取り組んだながさきプロボノチャレンジ推進事業では、NPOの組織力強化や育成に加えて、課題解決に取り組む多様な主体の交流や協働を促す仕組みづくりを推進した。また、従来から実施している協働サポートデスクにおける専門家のコーディネートによる協働実現に向けた取組支援や、行政職員への研修により協働意識の醸成を図るなど行政とNPO等との協働推進に向けた素地づくりに取り組んだ。	●課題解決に向けた方向性 引き続き、協働サポートデスクによる事業企画や協働を担うNPOの掘り起こし及び専門家を交えた調整など協働実現に向けた支援の一層の強化を進めるとともに、行政職員の協働意識醸成を図っていく。また、社会課題解決に取り組む多様な主体の交流や協働を促す仕組みづくりに取り組んでいく。

4. 令和6年度見直し内容及び令和7年度実施に向けた方向性

取組項目	中核事業	事業番号	事務事業名	令和6年度事業の実施にあたり見直した内容 ※令和6年度の新たな取組は「R6新規」等と、見直しがない場合は「―」と記載	令和7年度事業の実施に向けた方向性		
			事業期間		事業構築の視点	見直しの方向	見直し区分
			所管課(室)名				
取組項目 i	○	1	特定非営利活動促進法施行等事務	NPO法人に対する、設立認証や変更承認等の法令面から運営、事業活動に至るまでの一貫した支援ができるよう県民ボランティアセンターとの連携を強化し、また、DX推進のため、内閣府のウェブ報告システム利用を推進する。	②	県と県民ボランティア活動支援センターとのさらなる連携を図ることで、NPO法人に関する申請等の相談について相談者の利便性を向上することにより、NPO法人の円滑な設立と適正な管理運営の促進を図る。また、DX推進のため、NPO法人に対し内閣府のウェブ報告システム利用を周知していく。	改善
			H12-				
			県民生活環境課				
取組項目 i		2	ボランティア振興事業費	ボランティア体験支援事業について、ボランティアのポータルサイトを構築することにより、写真などを用いて受入施設の情報を参加者に伝わりやすい環境を整備し若年層の参加促進に努め、県内各地のボランティア人口の増加につなげる。	②	ボランティア体験支援事業参加者のアンケート結果や有識者の意見等を参考に、特に若年層の参加者増加につながるよう常に事業内容、周知方法等の見直しを図る。併せて、各種事業や情報発信に係るインターネット活用を拡充し、県民のボランティア活動の促進を図っていく。	改善
			H3-				
			県民生活環境課				
取組項目 ii	○	3	ながさきプロボノチャレンジ推進事業費	県民ボランティア活動支援センター等の中間支援組織とも連携し、令和5年度の実施内容や活用事例を踏まえNPO・ボランティア団体への周知と、団体の課題解決を支援する人材の確保に向けて実効性のある取組を検討し、効果的な事業の実施に努めていく。	②	県民ボランティア活動支援センターや、県と連携協定を締結した認定NPO法人サービスグラントとともに、NPO・ボランティア団体の課題解決に資する情報発信や人材確保に努め、団体の運営基盤強化につなげるとともに、支援事例の周知広報を図っていく。	改善
			R5-7				
			県民生活環境課				

注:「2. 令和5年度取組実績」に記載している事業のうち、令和5年度終了事業、100%国庫事業などで県の裁量の余地がない事業、公共事業評価対象事業、研究事業評価対象事業、指定管理者制度導入施設評価対象事業については、記載対象外としています。

【事業構築の視点】

① 視点① 事業群としての成果目標に対し、特に効果が高い事業の見極め、事業の選択と集中ができているか。

② 視点② 指標の進捗状況に応じて、その要因分析及びさらに高い効果を出すための工夫、目標に近づけるための工夫を検討・実施できているか。

③ 視点③ 人員・予算を最大限効果的に活用するための事務・事業の廃止・見直しができているか。

④ 視点④ 政策間連携により事業効果が高められないか。事業群としてリーダーの明確化、関係課の役割分担・協力関係の整理ができているか。

⑤ 視点⑤ 県と市町の役割分担・協力関係の整理・認識共有ができているか。

⑥ 視点⑥ 県と民間の役割分担・協力関係の整理・認識共有ができているか。

⑦ 視点⑦ 戦略的に関係者の行動を引き出せているか。

⑧ 視点⑧ 国制度等の最大限の活用が図られているか。国へ政策提案(制度改正要望)する必要はないか。

⑨ 視点⑨ 経済情勢等、環境の変化に対応した効果的・適切な見直しとなっているか。

⑩ その他の視点